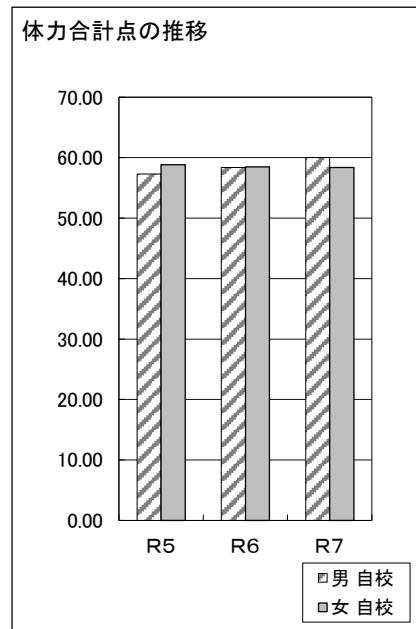
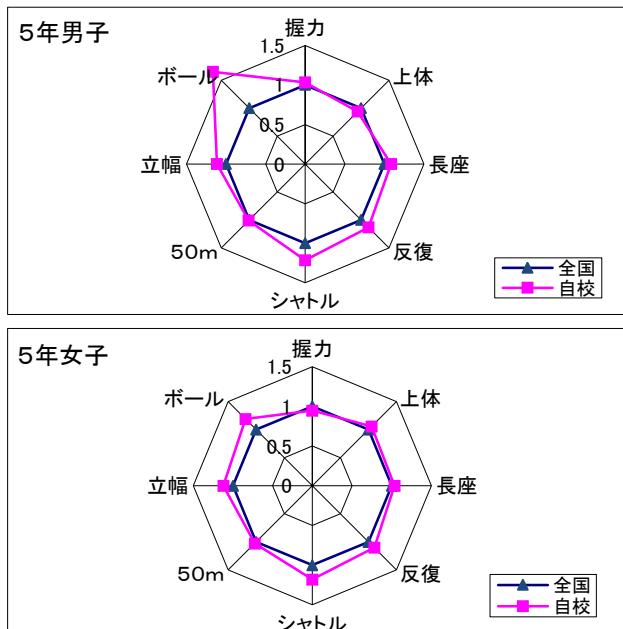


学校名 小29 明徳小学校

1 自校の実技結果と全国平均との比較

学年	性別		R7平均値								体力合計点		
			握力 (kg)	上体 (回)	長座 (cm)	反復 (点)	シャトル (回)	50m (秒)	立幅 (cm)	ボール (m)	R5	R6	R7
5年	男	全国	15.97	19.45	33.88	40.90	47.95	9.46	150.96	21.06	52.60	52.54	53.03
		自校	16.50	18.25	36.75	46.25	58.25	9.35	168.50	34.75	57.29	58.40	60.00
		比較	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	女	全国	15.61	18.36	38.17	38.71	36.87	9.77	142.39	13.10	54.29	53.93	53.98
		自校	14.80	19.40	39.50	42.70	43.50	9.51	159.70	15.60	58.83	58.50	58.40
		比較	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※全国平均以上の種目…○ 全国平均未満の種目…△



2 重点種目の結果についての分析

呉市の重点種目		中学校区の重点種目 ※義務教育学校は、自校の重点種目		自校の重点種目 ※義務教育学校は、前期課程の重点種目	
50m走		20mシャトルラン		握力	
〈成果と課題〉		〈成果と課題〉		〈成果と課題〉	
<ul style="list-style-type: none"> 平均値を全国平均と比べると、男子と女子共に平均を上回っていた。 引き続き、体育科の準備運動で短い距離を全力で走る運動を取り入れたり、「くれチャレンジマッチ・スタジアム」に積極的に取り組んだりする。 		<ul style="list-style-type: none"> 男女ともに、前年度の結果と全国平均を上回った。 引き続き、冬には3分間走に取り組んだり、体育の事前運動として鬼ごっこなどに取り組んだりすることで、走る体力や切り返しをスムーズに行うことができるようとする。 		<ul style="list-style-type: none"> 多くの学年が1学期の結果を上回ったが、男子3・4学年、女子1・3・4学年で1学期を下回った。 技が書かれている資料を掲示するなどして、鉄棒やうんてい、ジャングルジムの遊具で遊ぶ機会をつくるよう取り組んでいく。 	

3 児童質問紙調査の結果及び分析

運動やスポーツをすることが好きな児童の割合			朝食を毎日食べる児童の割合			1週間の総運動時間が60分以上の児童の割合		
性別	全国	自校	性別	全国	自校	性別	全国	自校
	93.5	100.0		82.5	100.0		90.1	100.0
女子	85.8	70.0	女子	80.4	80.0	女子	82.8	70.0
〈成果と課題〉			〈成果と課題〉			〈成果と課題〉		
<ul style="list-style-type: none"> 男子の運動やスポーツをすることが好きな児童の割合は100%だった。しかし、女子の割合は、70%で全国平均を下回った。 スポーツリズムトレーニングなどに取り組み、女子も興味をもって運動ができるようにしていきたい。 			<ul style="list-style-type: none"> 朝食を毎日食べる児童の割合は、男子が100%，女子が全国平均とほぼ同じ80%だった。 引き続き、毎学期、生活リズムカードに取り組み、児童が定期的に生活習慣を見直すことができる機会を設定する。 			<ul style="list-style-type: none"> 1週間の総運動時間が60分以上の児童の割合は、男子が100%だった。しかし、女子が70%と全国平均を下回った。 体育委員会の企画や朝会の時間を活用し、運動する楽しさや気持ちよさを味わうことができるようする。 		